

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準について

退職給与引当金・・・定年退職および自己都合退職金の支給に必要な額とします。

(2) 資金の範囲

資金の範囲には現金、普通預金、未収金、立替金、短期貸付金、預り金を含めることとしています。

なお、前期末残高および当期末残高については2. の記載のとおりです。

2. 次期繰越収支差額の内訳は次のとおりです。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
現金	0	0	0	0
普通預金	19,399,495	0	8,063,781	11,335,714
合計	19,399,495	0	8,063,781	11,335,714

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
立替金	665,630	244,780	0	910,410
次期繰越収支差額	19,703,446	0	7,994,751	11,708,695